

社会福祉法人エンゼル福祉会 2022年度  
事業計画

2020/3/17

# 計画項目

---

●2021年～2023年の中期計画目標を継続して実施。

- 1、人材(財)確保、育成
- 2、介護記録システム等グループ一体となった変革への取り組み
- 3、ガバナンスの強化(意思決定と合意形成)
- 4、新型コロナウイルス感染症対応
- 5、財務体質の安定。
- 6、資金運用計画
- 7、役員、評議員、監事監査日程
- 8、地域との交流行事(地域貢献事業)

# 1. 人材確保①離職対策（介護職員）

## ① 離職率の減少 \*（）内は2021年度

特養	目標数値	2021年度離職率等		現職員数
● 越谷なごみの郷	9.2%	(11.3%)	(9名)	76名
● おたけの郷	11.0%	(12.6%)	(11名)	112名
● 藤代なごみの郷	6.3%	(8.8%)	(4名)	45名
● かなみの杜	20%	—	(32名)	51名
通所介護				
● 越谷なごみの郷	11.7%	(15.7%)	(3名)	17名
● 藤代なごみの郷	9%	(9%)	(1名)	9名
● かなみの杜	20%	—	(14名)	8名
訪問介護				
● 越谷なごみの郷	0%	(0%)	(0名)	6名
● 藤代なごみの郷	0%	(0%)	(0名)	10名
居宅介護支援				
● 越谷なごみの郷	0%	(0%)	(0名)	5名
● おたけの郷	0%	(0%)	(0名)	3名
● 藤代なごみの郷	0%	(16.6%)	(1名)	4名
認知症GH尾久の原	0%	—	—	13名
小規模多機能型居宅介護 尾久の原	0%	—	—	10名

- 離職率に関しては前年度比減少となっている。
- 前年同様、離職理由を確認し、労働環境の向上を目指す。

# 1. 人材確保 ②採用

---

- ① 法人全体での採用を進める
- ② 新規卒業者に関しては、地方の新規卒業者の活動も積極的に展開する。(2022年度4月新規卒業者の入職実績は6名)
- ③ SNS等を利用した採用活動にてエンゼル福祉会の採用情報の幅広い認知。

# 1. 人材 ③育成

---

- ① 研修を効率よく実施するために法人を横断したチームを設立し、更なる職員育成を進める。
- ② 法人内施設における介護勉強会は継続。法人・施設で分担して実施。
- ③ 看護職、栄養士、機能訓練指導員においては引き続き最新情報を獲得すべく外部研修も活用する
- ④ 施設長、管理者、責任者に対する関係法令の研修。
- ⑤ SMBCセミナーを有効活用し、学びたいと意欲がある職員に対して、能力向上を図る。学べる機会が多ければ職員自身にもメリットがあり、研修が充実していると採用にも繋がることを期待させる。
- ⑥ 外部研修等を活用し研修講師のスキル向上と講師人員の増加を図る

# 1、人材確保

## ④研修

### 2022年度研修計画(案)

- 法人を横断したグループ、法人、施設での研修を効率よく実施する為にチームを創設して、更に職員育成を進める。

2022年度研修計画(エンゼル福祉会)			※グループ合同主催★、法人主催◎、施設主催■	
研修名	主催	対象者	日時	テーマ/備考
新卒者研修	★グループ ◎法人	2022年度 新規卒業者	4月	★入社式 ★新卒者ギアチェンジ研修
			7月	◎新卒者研修 ・3か月間の振り返り、出来るようになりたいこと等
			10月	★新卒フォローアップ研修
			3月	◎新卒者研修 ・年間の振り返り、2年目職員の重要性
現任者研修①	★グループ ◎法人	中途 1年目～3年目 職員対象	上期	★個別研修計画に基づきグループ主催の現任者研修に参加する
			下期	★個別研修計画に基づきグループ主催の現任者研修に参加する
			9月	◎法人合同開催
現任者研修②	★グループ ◎法人	中途 3年目以上 職員対象	上期	★個別研修計画に基づきグループ主催の現任者研修に参加する
			下期	★個別研修計画に基づきグループ主催の現任者研修に参加する
			10月	◎法人合同開催
リーダー研修	★グループ ◎法人	リーダー職員	上期	★個別研修計画に基づきグループ主催の現任者研修に参加する
			下期	★個別研修計画に基づきグループ主催の現任者研修に参加する
			年間通じて	★S M B Cセミナーの受講をする
マネジメント研修	★グループ ◎法人	責任者 管理者 施設長	年間通じて	★S M B Cセミナーの受講をする
			11月	◎マネジメントについて、上半期の振り返り
			年度末(仮)	★管理者合同研修
			3月	◎マネジメントについて、年間の振り返り
事業所内研修☑(護勉強会)	◎法人 ■施設	介護職員対象 必要時全職員	4月	■各部署年間目標
			5月	◎食事について
			6月	◎食中毒について
			7月	◎身体拘束・虐待防止について
			8月	◎褥瘡予防について
			9月	■救急対応について
			10月	■リスクマネジメントについて
			11月	◎感染予防について
			12月	■看取り介護について
			1月	■身体拘束・虐待防止について
			2月	◎認知症について
			3月	◎接遇・マナー
			※事業所内研修については、各施設ごとの開催であったが、法人共通で開催できる研修は法人合同で開催する	
	主催	対象者	時期	テーマ/備考
3年目研修	★グループ	3年目職員	5月～10月	★オンラインにて実施。法人の垣根を越えた連携強化、仕事に関する内容とする。
7年目研修(新設)	★グループ	7年目職員	10月	★宿泊型(1泊2日)の研修を予定。内容については検討中
管理者合同研修(新設)	★グループ	管理者/施設長等	年度末(仮)	★研修内容は未定だが研修会場などを貸し切り年間の振り返り等も含める。
選択研修	★グループ	全職員	年間通じて	★50講座の研修内容。昨年度より研修内容を20講座増やしている。

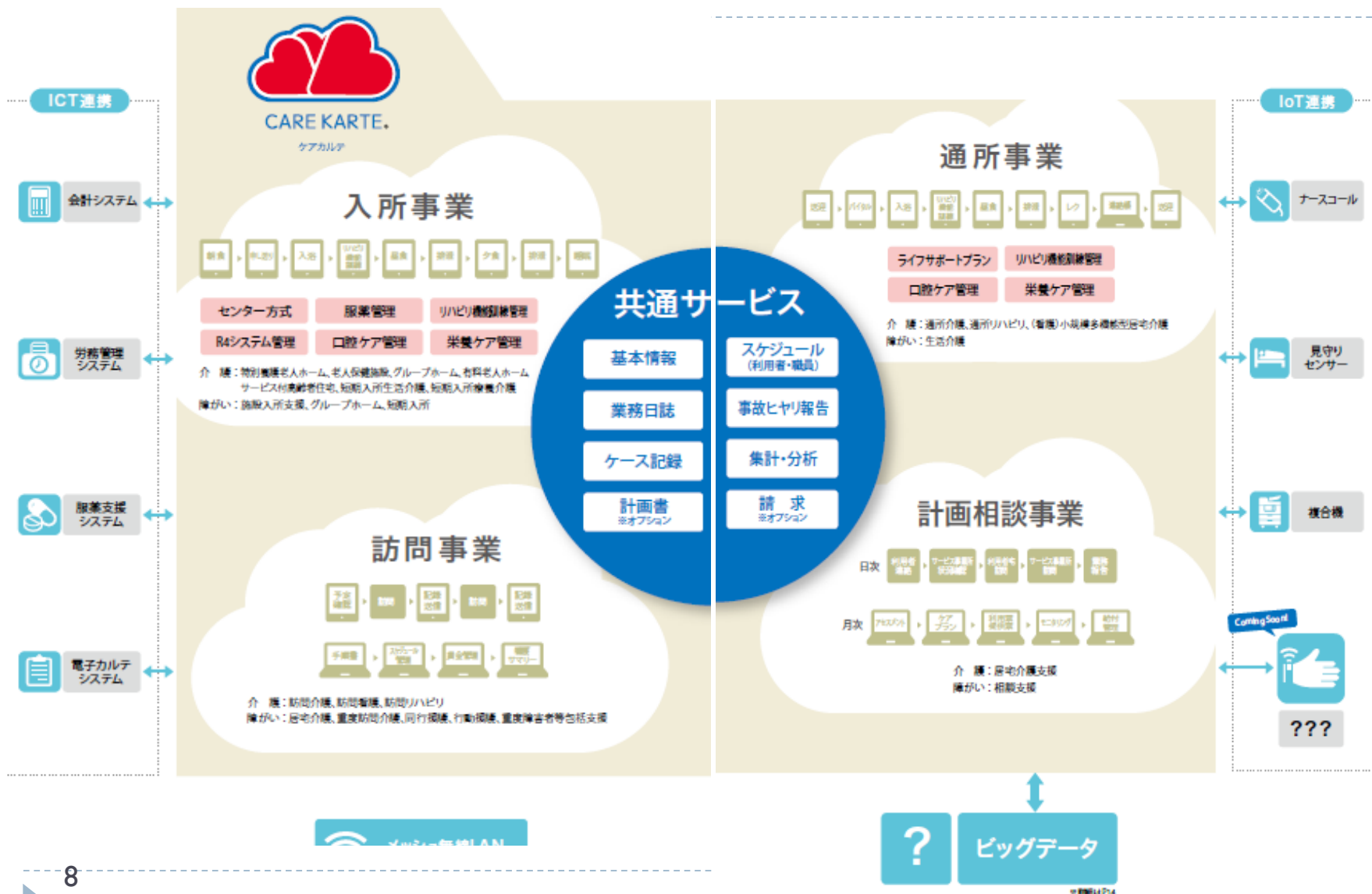
## 2. 介護記録システム等グループ一体となった 変革への取り組み

---

- ① 介護記録システム【ケアカルテ】((株)ケアコネクトジャパン)導入に向けた作業。利用者情報の統一、
- ② 研修体系の統一化
- ③ 内部監査体制の強化
- ④ その他

上記項目についてはグループ一体となって新たなチームを創設し、効率的かつ専門的に進めていく。そのほかの業務についても適宜検討し進める。

# 2-① 参考資料 (ケアカルテ概要)





### 3. ガバナンスの強化（意思決定と合意形成）

---

- ① 意思決定と合意形成については、エンゼル福祉会の最も重要な課題と捉えており、特に法人内での意思決定に関する報告義務と結果報告を徹底する。
- ② 予算執行に対する実施前後の報告徹底
- ③ 施設長、管理者、責任者の育成
- ④ 施設長、管理者、責任者による関係法令の遵守
- ⑤ 社会福祉法人に従事する社会的責任の理解

## 4. 新型コロナウイルス感染症対応（新規）

2022年度は二次感染者防止に向けた強化

### ① 水際対策

- マスクの正しい付け方（N95マスクも含む）を継続強化。装着方法の手技を確認
- 家族面会について、対面面会への切り替え時の感染対策を徹底

### ② 蔓延防止

- 陽性者対応時の振り返りを実施。改善点の共有・周知を図る
- ゾーニングの迅速な実施（ガムテープでグリーンゾーン、イエローゾーン、レッドゾーンを明確に分ける）。
- 感染防護具の取り扱い手技の反復練習。
- 職員間の感染防止の為、マスクを外す休憩時のリスク軽減対策を強化。

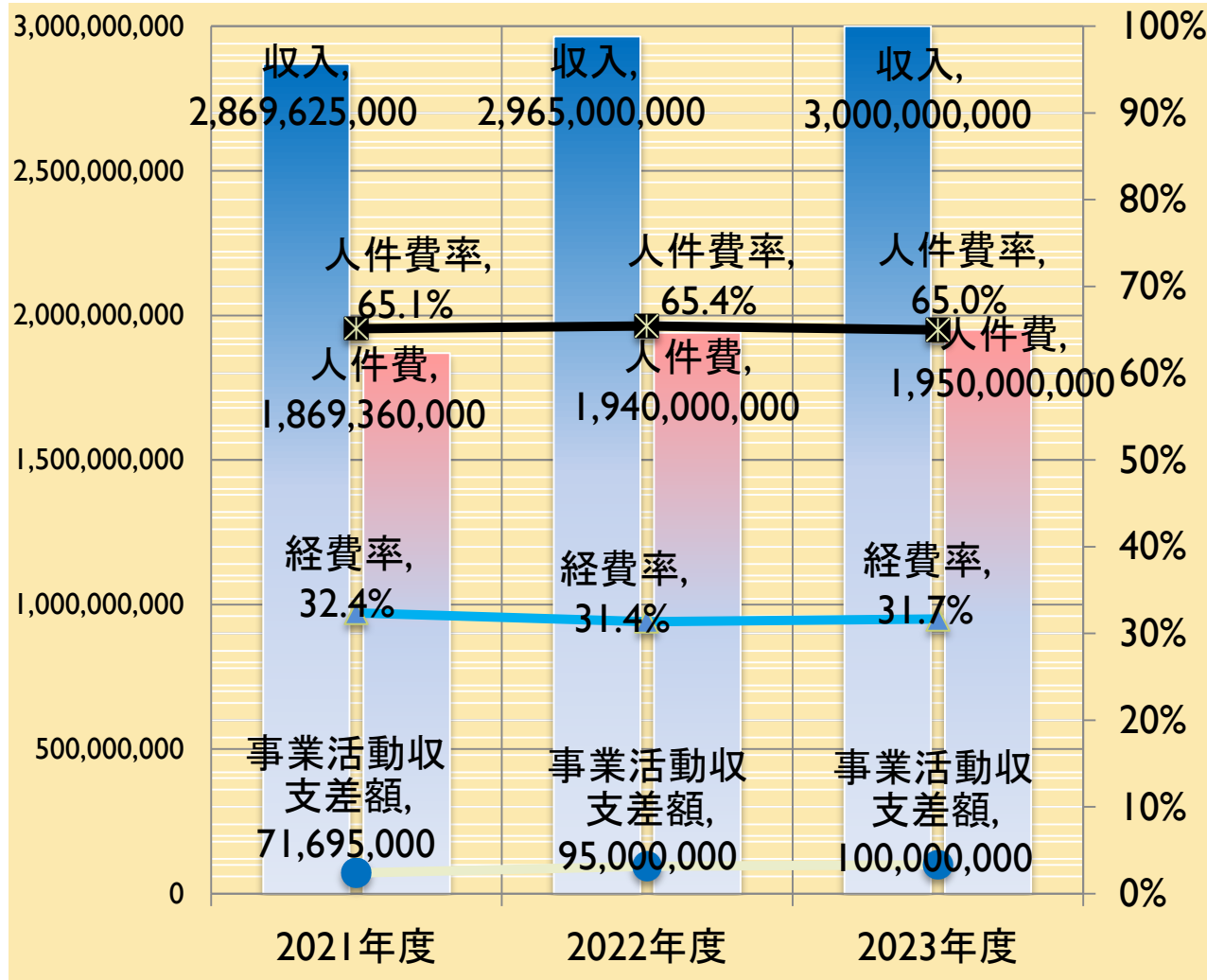
### ③ サービス継続へ向けた対策（濃厚接触者とならない為の対策）

- 距離、マスク等の感染対策で職員の防護を徹底し、陽性者と接しても濃厚接触者とならない備えをし（N95マスク等、フェースガード）業務にあたる
- 利用者が安心して利用できるサービスの提供を継続する。

## 5. 財務体質の安定

- ① 新型コロナウイルスの影響による減収を考慮し、中期目標における2022年度の目標値を修正。
- ② 派遣介護職員の削減は予定通り進捗した。2022年度は直接雇用介護職員の採用を中心に人材紹介含む求人活動に予算を充てる。
- ③ 越谷・藤代は開設20年以上経過のため、修繕・更新工事が増加。2022年度も越谷C館の空調入替工事、厨房用品の入替等で固定資産の予算増。
- ④ かなみの杜においては2022年度より加算の算定が可能となり、又、在宅利用者の増加を計画し、収支状況の改善を目指す。
- ⑤ 介護ソフトの導入に向けた資金確保のため、各施設の2022年資金収支差額を本部にて備品積立金として予算計上。
- ⑥ グループ一体となった変革に伴う各法人を横断したチーム設立の為の予算計上(研修・ICT戦略・内部監査・BCP作成等々)
- ⑦ 多世代交流施設 尾久のはらっぱ建設用地についての購入を検討。
- ⑧ 法人全体での積立金現金保有率60%
- ⑨ 介護職員処遇改善支援補助金及び福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の支給(第4号議案関連)(5-④参考資料)

## 5 -①2021～2023年度収支計画（当初の計画）

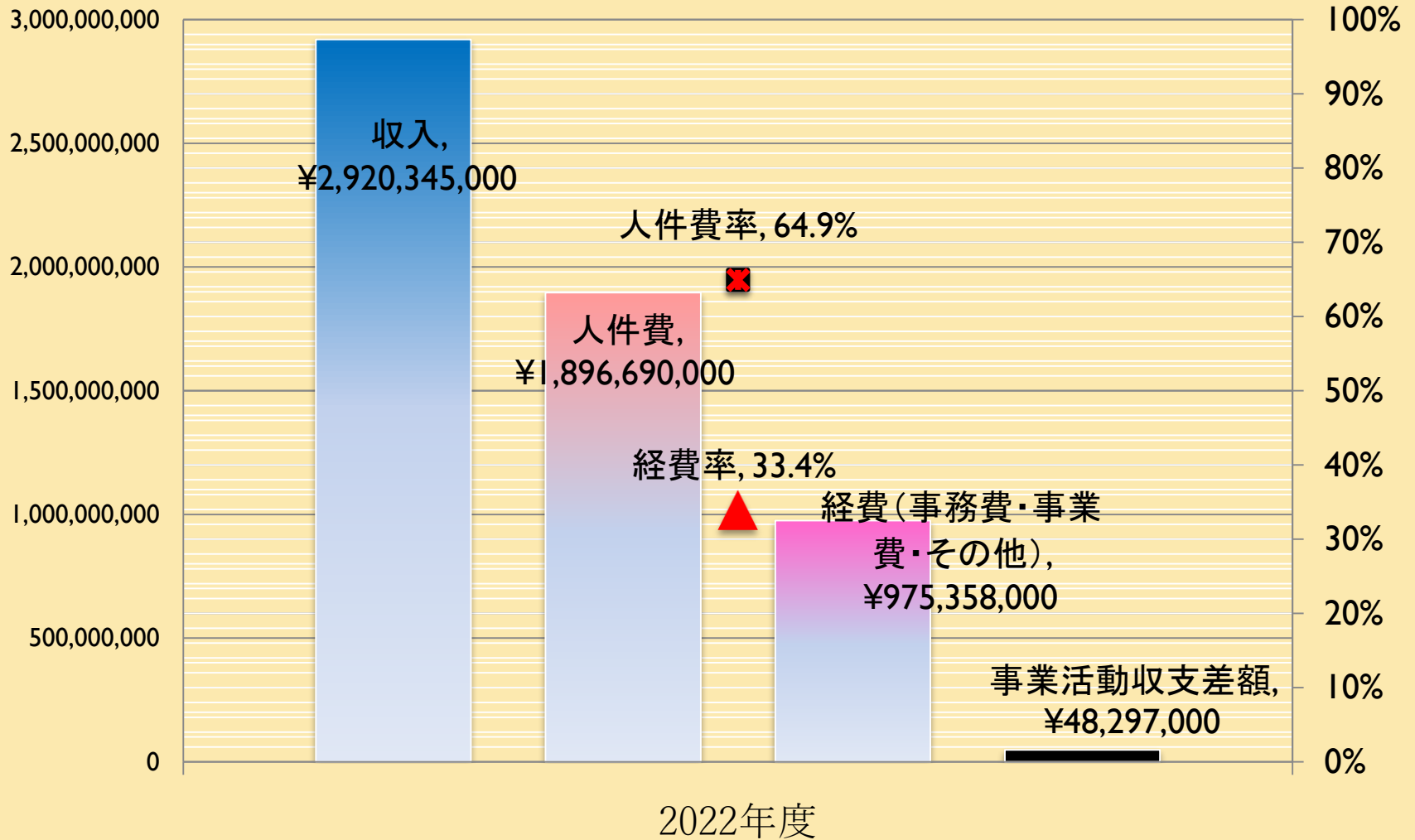


2022年度の収支予測は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し当初計画数値を下方修正する。

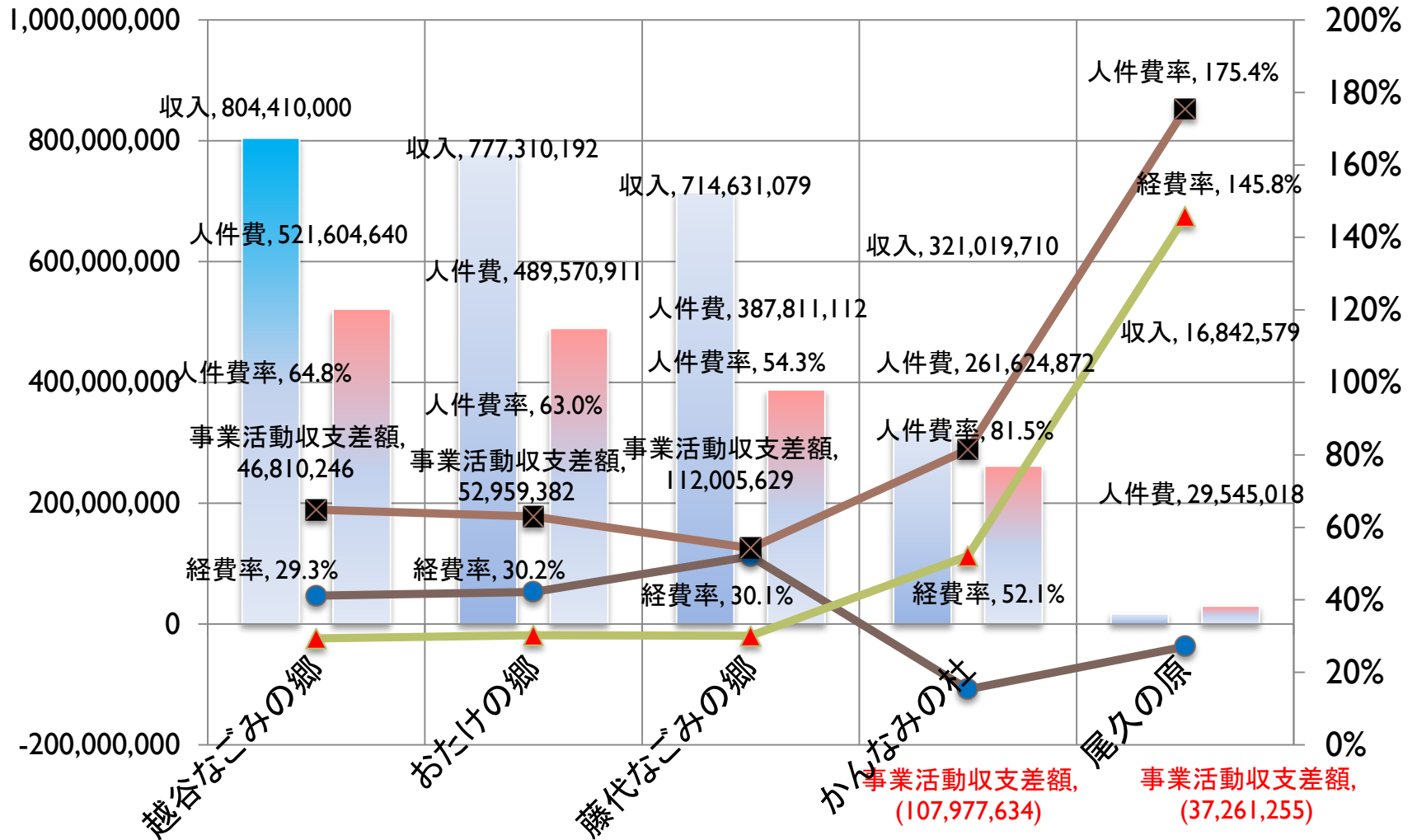
当初法人全体の収支予測を29億6500万円としていたが、前述の影響により在宅の利用控えと感染による入院の増加、新たな処遇改善加算による収入を考慮。

\* 2023年度の収支計画については、様々な情報を加味し22年度末にて検討し決定する。

# 5 - ②2022年度収支予算 (案)



# 5 - ③2021年度決算予測 施設別 (参考資料)



# 5 - ④ 参考資料

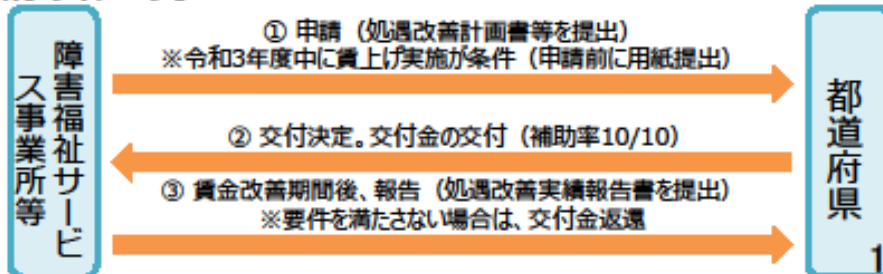
## 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金

- 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」(令和3年11月19日閣議決定)に基づき、障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるための措置を、令和4年2月から前倒しで実施するために必要な経費を都道府県に交付する。
- 他の職員の処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認める。

- ◎ **対象期間** 令和4年2月～9月の賃金引上げ分(以降も、別途賃上げ効果が継続される取組みを行う)
- ◎ **補助金額** 対象障害福祉サービス事業所等の福祉・介護職員(常勤換算)1人当たり月額平均9,000円の賃金引上げに相当する額。対象サービスごとの福祉・介護職員(常勤換算)に対して必要な交付率を設定し、各事業所の総報酬にその交付率を乗じた額を支給。
- ◎ **取得要件**
  - ・ 処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを取得している事業所(現行の処遇改善加算の対象サービス事業所)
  - ・ 上記かつ、令和4年2・3月(令和3年度中)から実際に賃上げを行っている事業所(事業所は、都道府県に賃上げを実施した旨の用紙を提出。メール等での提出も可能)
  - ・ 賃上げ効果の継続に資するよう、補助額の2/3以上は福祉・介護職員等のベースアップ等(※)の引上げに使用することを要件とする(4月分以降。基本給の引き上げに伴う賞与や超過勤務手当等の各種手当への影響を考慮しつつ、就業規則(賃金規程)改正に一定の時間を要することを考慮して令和4年2・3月分は一時金による支給を可能とする。)  
※「基本給」又は「決まって毎月支払われる手当」
- ◎ **対象となる職種**
  - ・ 福祉・介護職員
  - ・ 事業所の判断により、他の職員の処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認める。
- ◎ **申請方法** 各事業所において、都道府県に福祉・介護職員・その他職員の月額の賃金改善額を記載した計画書(※)を提出。  
※月額の賃金改善額の総額(対象とする職員全体の額)の記載を求める(職員個々人の賃金改善額の記載は求めない)
- ◎ **報告方法** 各事業所において、都道府県に賃金改善期間経過後、計画の実績報告書(※)を提出。  
※月額の賃金改善額の総額(対象とする職員全体の額)の記載を求める(職員個々人の賃金改善額の記載は求めない)

- ◎ **交付方法**  
対象事業所は都道府県に対して申請し、対象事業所に対して交付金支払(国費10/10、約414億円)。
- ◎ **申請・交付スケジュール**
  - ✓ 賃上げ開始月(2・3月)に、その旨の用紙を都道府県に提出
  - ✓ 実際の申請は、都道府県における準備等を勘案し、令和4年4月から受付、6月から交付金を毎月分交付
  - ✓ 賃金改善期間後、処遇改善実績報告書を提出。

### 【執行のイメージ】



## 6. 資金運用計画（案）

### ① 資金運用に携わる責任者

	法人本部	越谷なごみの郷	藤代なごみの郷	おたけの郷	かなみの杜	尾久の原
統括会計責任者	小林義男(理事長)					
資金運用責任者	高川厚司(業務執行理事)					
会計責任者	富山彰子(法人本部)					
出納職員	矢作香織	金子百合江	石川知代	橋本裕実	鈴木静香	富山彰子

### ② 現在の固定資産(投資有価証券含む)次ページ参照

### ③ 法人本部積立金は尾久の原建設自己資金として取り崩し。補助金にて戻りとなるが、現在検討している介護ソフト導入の資金として予定。

### ④ 2022年度資金運用計画(詳細は第3号議案として別添)

- a. ・現在の積立資産のうち投資有価証券での保有分1億円は満期償還まで保有予定。
- b. ・全体の積立資産のうち有価証券保有率が約43%、現金保有率が57%、となっている。緊急な支出が必要な場合に備え現金保有率を60%とする。(中期計画内に記載)
- c. ・全体の現金保有率を60%とするべく、今計画中での新たな資産運用は行わない



# 6-①施設別固定資産一覽

## 4 施設別固定資産（積立金）表 反転部分は2021年度運用部分

### ①越谷なごみの郷

内 訳	金 額	合計	対象資産（保管先）	備考	購入	満期
人件費積立金	69,500,000	119,500,000	栃木銀行		2021年一部取崩	
	50,000,000		53ソフトバンク	国内債券（社債）	2018年6月1日	2024年6月1日
修繕費積立金	33,500,000	33,500,000	栃木銀行		2021年一部取崩	
備品費積立金	10,000,000	10,000,000	栃木銀行			

### ②藤代なごみの郷

内 訳	金 額	合計	対象資産（保管先）	備考	購入	満期
人件費積立金	5,000,000	84,000,000	ダイワネクスト銀行		グアイJ-REITへ資金移動	
	50,000,000		グアイ#15495ソフトバンク	外国債券	2018年2月1日	2024年1月5日
	20,000,000		グアイJ-REITオープン	投資信託	2021年7月16日	
備品積立金	9,000,000	5,000,000	栃木銀行			
	5,000,000		栃木銀行			

### ③おたけの郷

内 訳	金 額	合計	対象資産（保管先）	備考	購入	満期
人件費積立金	9,000,000	9,000,000	栃木銀行			
修繕費積立金	30,000,000	30,000,000	栃木銀行			
備品積立金	2,000,000	2,000,000	栃木銀行			

### ④法人本部

内 訳	金 額	合計	対象資産（保管先）	内 訳	購入	満期
施設整備積立金	0	0	栃木銀行		2021年度全額取崩	
人件費積立金	0	0	栃木銀行		2021年度全額取崩	
修繕積立金	0	0	栃木銀行		2021年度全額取崩	
備品積立金		0	栃木銀行			

	全 体	越谷なごみの郷	藤代なごみの郷	おたけの郷	法人本部
有価証券	125,000,000	50,000,000	75,000,000	0	0
現 金	168,000,000	113,000,000	14,000,000	41,000,000	0
総合計	293,000,000	163,000,000	89,000,000	41,000,000	0

## 7. 役員会、評議員会、監事監査日程（案）

### ▶ 監事監査

▶ 2022年5月17日（火）10時～

### ○主な議題：事業報告・決算

▶ 役員会 2022年6月7日（火） 14時～

▶ 評議員会 2022年6月24日（金） 15時～

### ○主な議題：補正予算等

▶ 役員会 2023年 1月 17日（火） 14時～

▶ 評議員会 2023年 1月 26日（木） 15時～（終了後新年会予定）

### ○主な議題：次年度予算、計画等

▶ 役員会 2023年 3月 14日（火）14時～

▶ 評議員会 2023年 3月 23日（木）15時～

## 8. 地域との交流行事（地域貢献事業）

基本的には新型コロナウイルス感染症蔓延防止を原則とし、日本国内における蔓延情報をもとに地域交流としての行事を検討。

### 越谷なごみの郷

- ・和太鼓祭 2022年10月
- ・認知症カフェ(negoカフェ)

### 藤代なごみの郷

- ・なごみ祭(夏祭)盆踊り、出店、花火 8月
- ・認知症カフェ「喫茶 和」

### シルバーリハビリ体操

### おたけの郷

- ・おたけ祭 出店等 日程未定



### かなみの杜渋谷

- ・シニアチアダンス事務局

### 尾久のはらっぱ

- ・おもちゃ図書館
- ・オレンジカフェ
- ・青空テラス
- ・ころばん体操
- ・まちなか図書館